

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	交通安全対策審議会			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 道路・交通の整備	施策番号	4 - 4	-
	総合計画書 (ページ)	89	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 9	公安費	事業 1	交通安全対策審議会費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	------	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 平成30年4月1日現在の人口
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内における交通事故発生件数の減少。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 市内における交通事故の件数
	③ そのために何をしましたか。 交通安全対策審議会を開催し、平成28年度に改訂を行った「東大和市交通安全計画」中の重点目標を達成するための取り組み等についての進捗状況を確認した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 平成30年度の審議会開催1回(平成30年10月1日)

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/
	成果指標	②の数値	件	276	242	233	/
	目 標	②の目標値		/	/		/
		目標値設定の考え方	市内の交通事故件数				
活動指標	③の数値	回	4	1	1	/	

3 経費	事業費(実績)		円	162,000	54,000	45,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	162,000	54,000	45,000	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	344,000	84,000	84,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	506,000	138,000	129,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 東大和市交通安全計画は、交通安全対策基本法(昭和45年法律第110号)に基づき、市内における交通事故などの交通災害から市民の生命身体を守り、安全で安心な生活環境を確保することを目的とした交通安全対策の総合的な推進を図るために策定している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 高齢社会の進展とともに、高齢者の交通事故関与率は上昇傾向にあり、平成30年中には都内の全交通事故に対して31.6%まで達し、他の年代と比較して高い割合を示している。

仕 事 の 内 容	交通安全対策審議会			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	交通安全対策審議会において、市内の交通事故発生状況や、消防による救急出場の状況、市の交通安全対策事業の取り組み等を報告し、東大和市交通安全計画中の4つの重点課題である、「高齢者の交通安全の確保」、「自転車の安全利用の推進」、「二輪車の安全対策の推進」、「飲酒運転の根絶」を掲げ、交通事故の発生と死傷者数を最大限抑制する目標への取り組みの進捗状況を確認し、意見交換を行った。			

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 東大和市交通安全計画の施策を効果的に推進していくためには、関係機関相互の協力体制を確立していくことが不可欠である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 交通安全対策審議会において、平成28年度に改訂を行った「東大和市交通安全計画」の施策について、市や市内の各関係行政機関が取組んだ内容の進捗状況の確認を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 新たな課題や市民からの意見要望などを考慮しながら次回の改定に向けて、関係機関との情報の共有など連携を図る必要がある。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 交通安全対策審議会における重要施策である東大和市交通安全計画の施策を推進するに当たっては、行政の対応に加え、市民や民間団体等との相互協力と連携を図る必要がある。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 東大和市交通安全計画は、東京都交通安全計画との整合性を図りながら推進するため、東京都の動向にも注視しながら、交通安全対策審議会を開催していくことが必要である。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。